

平成29年台風21号を受けての課題と対応

○課題①：内水対策

【当面の対応】

- ・ポンプ車の派遣に関する情報を整理し、実務者間で共有

【中長期的な対応】

- ・内水対策の検討→取組方針に追加

○課題②：築堤実施中地区（中流部）の対応

【当面の対応】

→別紙

○課題③：輪中堤地区（下流部）の出水時の緊急搬送

【当面の対応】

- ・堤内地が浸水し、道路が通行不可能になった場合に緊急搬送等ができるよう、緊急車両等が堤防を通行できる対策を協議し、可能な範囲を実施する。（現在、道路管理者と調整中）

- 一定程度築堤盛土が進捗している戸田地区及び川北地区では、早期効果発現の観点から、河川改修の状況や左右岸バランスを踏まえて、河川管理者等が橋梁取付部分等の開口部を土のう等で閉塞する。
- 自治体においては、避難誘導を優先するとともに、状況に応じて家屋浸水を防止するための水防活動を実施する。
- あわせて河川管理者及び自治体等は、由良川の取組方針に基づき、避難のための情報発信等のソフト対策に努める。
- これらの対応により、小規模出水時の浸水範囲及び浸水深の減少が見込める。

【対象箇所及び役割分担】

- ・左岸：戸田橋前後の開口部→調整中
川北橋上流の開口部→国土交通省
- ・右岸：川北橋上流の開口部→国土交通省
- ・水防活動→福知山市
- ・情報発信→国土交通省、京都府、福知山市

応急対応(仮締切り)イメージ

